文寛庚火事於記哀歌

全

へ13
3070

特へ13 3070

藤井蔵書

第　号

讀書心得之記

一可成丁寧ニ讀ベキ事
一破損及塗黒スベカラズ
一又貸ハ一切嚴禁之事
一火ノ上ニテ心ズ讀ベカラズ、
一讀書中中央迄讀候節ハ心ズ栞ヲ入置ベシ決シテ本ヲ折ベカラズ、

右之條箇ク相守可申者也

藤井氏藏書

丘氏之記

中老藝の戸はまこと[illegible]

夫恋鹿火串鄙唄

式亭門人 古今亭三島作

歌川國直画

製情松軒

大吉利市

版元 春松軒西宮新六

卷之壹

千歳文化十一年甲戌春正月發兌

義太夫浪本唱屋 西宮新六梓行

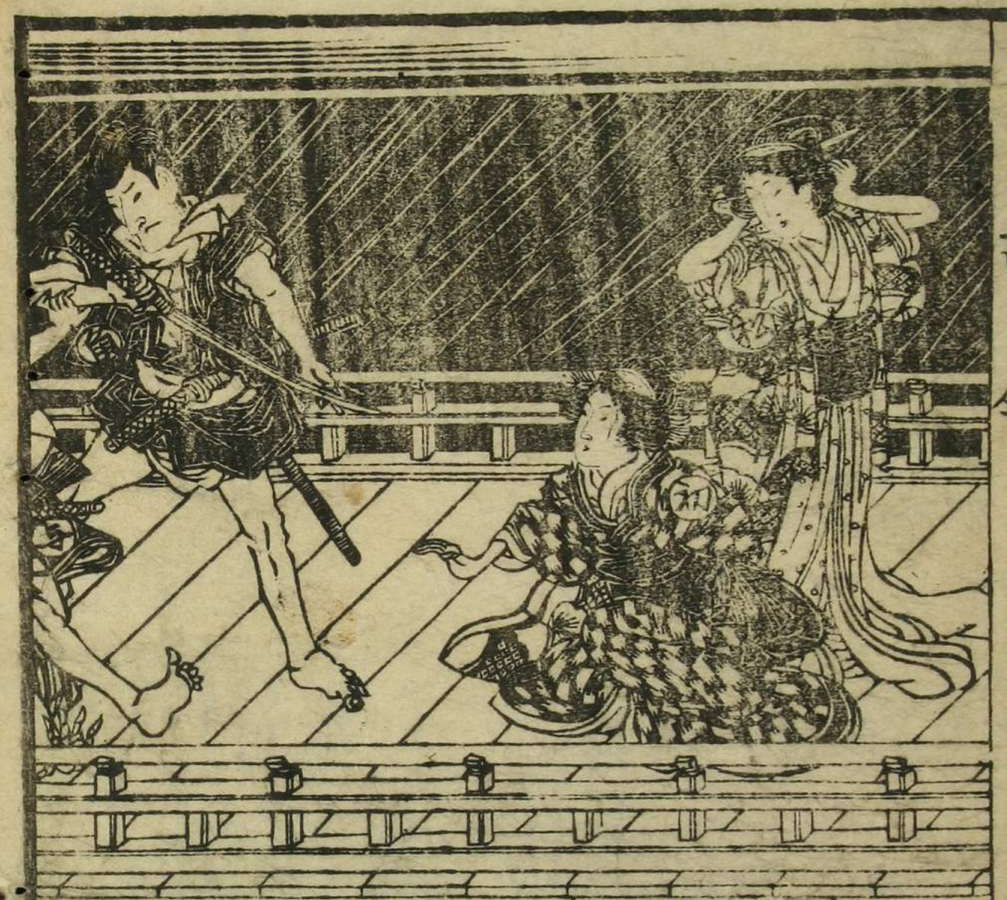
摂津川度守綱藏

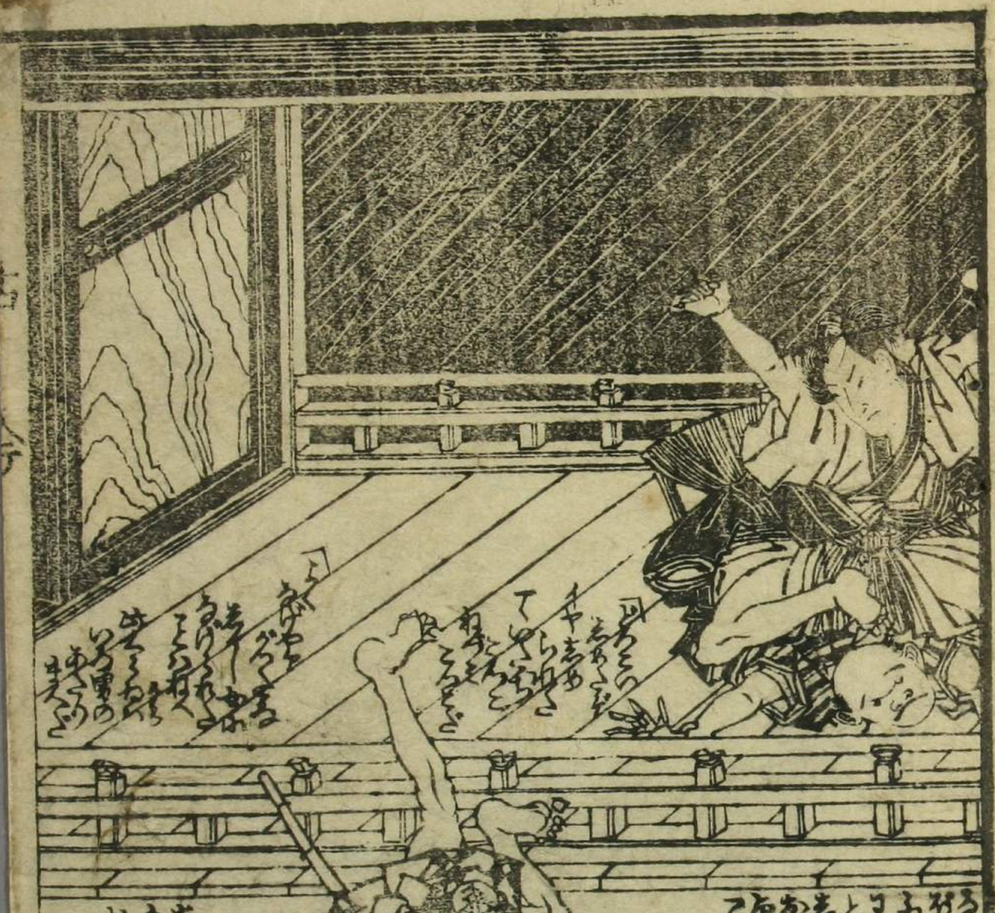
神原
与作
横須賀次郎
神原奴僕
淀平

五条坂之
遊君
松の戸太夫
吉岡求馬猛虎
女侠
水櫛のかく
於六
中務法親王

拔劍
掃開
邊塞霧
揚旗收
盡壓烟塵
中光
萩の
乃
戸

神原
與五郎
宗連





松

竹

つゞき

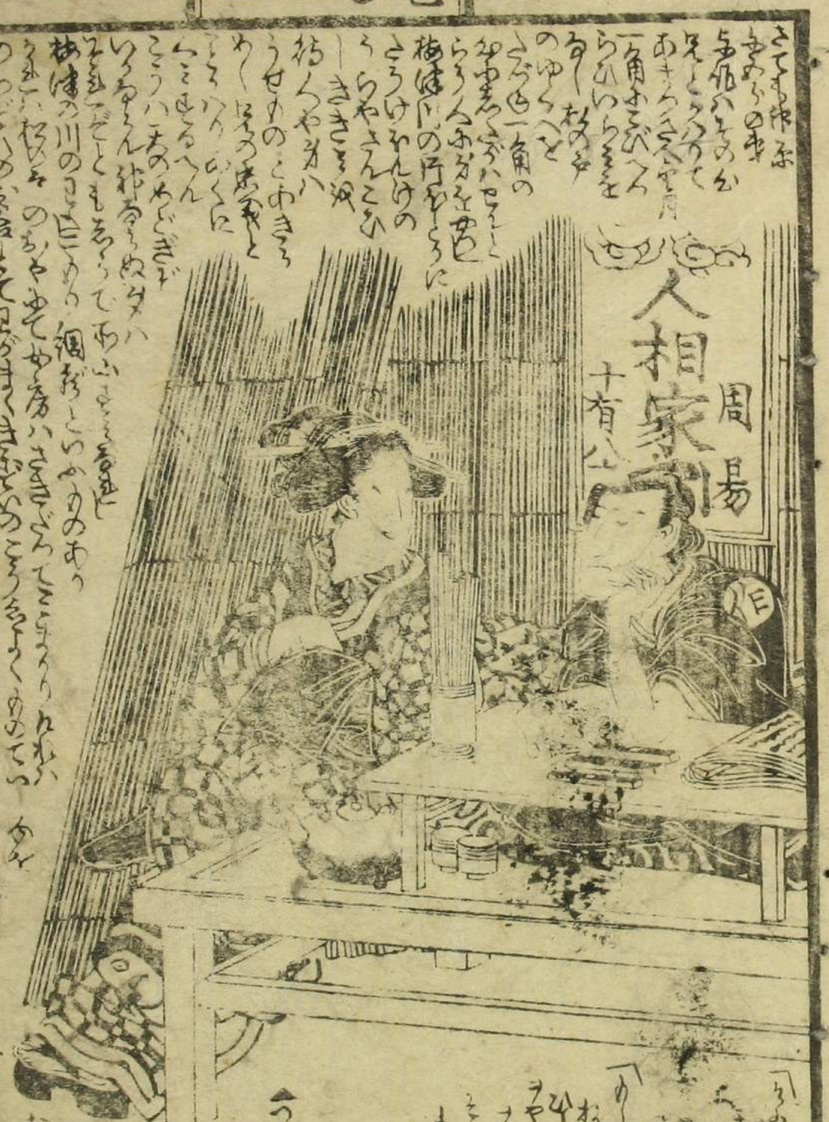
ちからぬけ
ありがたく
ぞんじ
ます

つまごふしか

古今亭三鳥作

歌川國直画

終


人相家
周場
十有八

まくのぐさ
きんぐつふく
のこりなく
ぬきとめ
やまにまきたれ
うけおひ
まくにくらさんと
あるよひとりふ門の
かぶこちて
ろうごろうこおやしき
をてにあけんとあるもわろ
つるぶらハ貝をさはだらく
ゆきぐくあくあれあ
そのまくのぐさんやとあり
あふろうハあろうてあそ
かるをこさともせぞ
ちぬハぐんひろひきあって
とくりあハ光かれの
ようぐさいあちぬ世の
いとまをこせんとまふ
むぐんかきろ　ろろ紙
年ハよろそもぐうきの
つるぶら　もんぞうぐむ
ふぐとふさんと　次くづく

おくりぐく
角

松

あんぐーの
お方の
仏壇の
家のさうどう
ちょと注年と
さるのふお別あるぎをこちらのき
くるくるさーてひろくるぐ
ちゃふきさいのあり々ばまぬ
ほうれいふあ主のうきさんぎろ
のこのうちこのそこをせんぎせんと
おいたいそのくるくるくる

世界りの
からくり
いとさふ
ゆきとうの
平

「つゞき」

三馬葉店口上

江戸のみ

金勢丸

蘭者袋
金百疋
金二百疋

文化十一甲戌新鐫

三勝半七 女劇時世粧 全一冊 式亭三馬作 歌川國貞画

阿駒才三 當世織續紛八丈 全六冊 式亭三馬作 歌川國直画

傾城松の戸中老萩の戸 妻乞鹿火串鄙唄 全一冊 古今亭三鳥作 歌川国直画

浦里時次郎 隅田堤二人連彈 全一冊 春亭三喬作 歌川国七画

お染久松八郎兵衛 踊唄繁華街 全一冊 葛葉散人正 歌川国

お夏清十郎傳五郎濱 水馴棹浮名堀川 全一冊 古今亭三 歌川国

地本並義大夫 正本 板本 問屋 江戸橋通 宮新